

令和7年度英国派遣事業実施要項

1 目的

これからの国際社会に向け、次世代を担う子どもたちの育成に力を入れることは必要不可欠なことであり、異国での交流、体験をととして国際感覚豊かな人材の育成を図る。

日々進展する国際社会に対応するためには、実際に他国に赴き、その国の伝統・文化・歴史等の理解を深めることで、日本や自分の地域の歴史文化を正しく理解し、新しい価値観を創造する力を養うことが必要である。そのため、古くから伝わる伝統文化、歴史的街並みを大切に守り伝える英国での研修を行う。

2 対象者

芦北町に住所を有する中学生及び高校生とし、本事業で派遣されたことがない者とする。

ただし、修学のため町外に転出した者については、扶養している者が本町に住所を有している場合は対象とする。

3 募集人員 8人（高校生4人程度、中学生4人程度）

4 申込方法 申込書（別記様式1）を申込締切日までに芦北町国際交流協会事務局（芦北町役場企画財政課内）へ郵送または持参するか、オンライン申込フォームからの申し込みとする。

※派遣決定後は、作文の提出（別記様式2）及び要項12に掲げる事前・事後学習会・報告会のすべての受講・参加を条件とする。

5 申込締切日 令和7年7月9日（水）

6 選考方法 申込締切日までに申し込みのあった者を派遣候補者とし、候補者多数の場合は、抽選により決定する。

抽選日：令和7年7月10日（木）18：00～

7 随行者 引率者 3人（町職員2人、教職員1人） コーディネーター 1人

8 派遣日 令和7年9月12日（金）～9月20日（土）9日間（別紙日程表のとおり）

9 派遣費用 628,000円（うち自己負担金100,000円）

10 派遣内容

次に掲げるものを主な内容とする。ただし、現地の事情により一部変更になる場合がある。

(1) 学校訪問

- (i) 同世代の子どもたちとの交流
- (ii) 英語での発表
- (iii) 授業見学・体験

(2) 交流会

- (i) ホストファミリーの子どもたちとの交流会
- (ii) 在英熊本県人会との交流会

(3) ホームステイ

英国の生活体験（1～2人程度に分かれる）

(4) 英会話体験

- (i) ホストファミリーとの英会話交流
- (ii) デパートやスーパーマーケットでの買い物体験

(5) 英国文化・歴史体験（見学）学習

- (i) 日本大使館訪問
- (ii) 大英博物館、セントポール寺院、タワーブリッジ、ロンドン塔、バッキンガム宮殿、ヘイスティング古戦場跡などを視察
- (iii) 公共交通機関（地下鉄、バス等）の利用体験

11 派遣費用

中高校生の自己負担金は、総額のうち例年同等額の10万円とし、芦北町国際交流協会が残額を負担する。また、引率者の費用は、職員等の研修旅費であるため町一般会計から支出し、コーディネーターの費用は、事業に係る経費として当該協会が負担する。

なお、当該協会の負担金は、芦北町ふるさとづくり基金運用事業補助金を充てるものとする。

派遣費用内訳（1人当たり）

	中高校生	引率者	コーディネーター
総額	628,000 円	698,000 円	698,000 円
自己負担金	100,000 円	0 円	0 円
芦北町負担金	0 円	698,000 円	0 円
芦北町国際交流協会負担金	528,000 円	0 円	698,000 円

12 事前・事後学習会・報告会

本事業の目的を達成するために、次の学習会等を実施する。特段の理由がない限りすべての書類提出及び学習会を受講、報告会に出席するものとする。

(1) 作文提出

英国派遣参加に向けた自己の取り組み、及び英国派遣の目標を800～1,200字程度で提出する。※(3)の事前学習会で使用

(2) 事前交流

ホストファミリーとe-mailやSNS等での交流

(3) 事前学習会

- (i) 派遣事業の行程確認
- (ii) 自己紹介、班分け
- (iii) コイン・お札、日常マナー、交流会での出し物
- (iv) 研修での質問事項についての学習
- (v) 英語で自己紹介、入国審査時の対応
- (vi) ショッピング・レストラン・乗り物での会話
- (vii) 復習、日常・旅行会話総集編

(4) 事後学習会・報告会（フォローアップ講座）

- (i) 報告書の作成
- (ii) 派遣報告会 ※11月～12月頃の土日を想定
- (iii) ホストファミリーとの交流（クリスマスカードの送付）